

むさしの景観だより

歩いて考える景観まちづくりワークショップ第4回
「住宅地よこ歩きツアー～ハッピーなもてなしの景観まちづくり～」を開催しました

第4号

平成27年
9月発行

6月27日（土）に西久保コミュニティセンターにて、ワークショップ第4回「住宅地よこ歩きツアー～ハッピーなもてなしの景観まちづくり～」を開催しました。

まずは会場にて、「ハッピーなもてなしの景観まちづくりとは？」というテーマのレクチャーがありました。

レクチャーは、市民参加によるせせらぎの再生や条例を活かして住民が守り育てている昔ながらの土の道の風景など世田谷区の事例紹介と交差点や路地の緑、塀や生け垣の境界デザイン、建物の色彩や屋根の形状などが住宅地の景観を見る際のチェックポイントであるという内容でした。



レクチャーの様子

また、武蔵野市まちづくり条例に基づく、西久保一丁目緑をまもるまちづくり協議会の活動の紹介もありました。

その後、6グループに分かれて三鷹駅～西久保周辺のまちを歩き、会場に戻ってから各グループで「ハッピーなもてなしの景観ベスト5」を選びました。

ベスト5には、「松の木を残した住宅」、「小さな緑と花のもてなし（路地）」、「細長く抜ける短冊状の道」などが選ばれました。まち歩きから戻ってきた参加者からは、「歩いてみて住人の方達のまちを愛する気持ちが伝わってきました」、「西久保は手づくり感と生活感が感じられるあたたかいまち」といった声があがりました。



まち歩きの様子

まち歩きのリートのご紹介



西久保周辺を中心に、玉川上水沿いや西久保1丁目を歩くグループ、三谷通りを中心に西久保1丁目～2丁目を横断的に歩くグループ、西久保2丁目を中心に歩くグループ、三鷹通りの東側にあるかたらいの道周辺を歩くグループなど、6つのエリアを設定しました。

ハッピーなもてなしの景観ベスト5のご紹介（*各グループから1つを抜粋）

1 グループ

一丁目の想い！



建物の壁面が目立ちすぎないように列植された緑は住民の要望により生まれた。緑の垣根の働きかけにより住民が結束し、花壇づくりの活動につながった。

2 グループ

バラのキレイなお宅とペチュニアのあるお宅



香り豊かなバラのあるお宅と、季節毎に植え替わるペチュニアのあるお宅が、道行く人の目を楽しませてくれる。

3 グループ

老人ホームの緑化とふじ公園とが連続した景観



歩道からセットバックした緑の柵が良いが、角のケヤキが成長するとより良くなる。
ふじ公園と老人ホームのエントランスの緑がつながりすばらしい景観が生まれている。

4 グループ

南北に細長く抜ける道



西窪（西久保）村は、江戸の大火で、現在の虎ノ門の辺りから移住した地域。
新田開発の名残の南北に細長く通る道は、風や視線が抜け、まっすぐではなく僅かに曲がり、起伏もある。

5 グループ

軽井沢のような屋敷構え



周囲のまちのスケール感と異なり、別荘地のようなたたずまいがよい。
緑の配置や高さのバランスがよいいため圧迫感を感じず、雰囲気がいちと好まれる。

6 グループ

クランク路地ゾーン



新しい戸建住宅と昔ながらの戸建住宅が混在した生活景がある。
曲がり角が多いので、アイストップが多く、曲がってみないと先が分からない楽しさがある。

問 い 合 わ せ

〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28 武蔵野市役所 都市整備部 まちづくり推進課
電話：0422-60-1872 ファクス：0422-51-9250
Eメール：SEC-MACHIDUKURI@city.musashino.lg.jp



Facebook ページ <https://www.facebook.com/musashinoscape>

いいね！

